



RIAJ
Recording Industry Association of Japan

The Record

February
2012

vol.627

2011年度「音楽メディアユーザー実態調査」公表
第26回日本ゴールドディスク大賞発表！



Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
2011年度	
「音楽メディアユーザー実態調査」公表.....	3
特報	
第26回 日本ゴールドディスク大賞 発表!.....	7
当協会創立70周年記念 特別功労者表彰、 理事功労者表彰を実施.....	9
SARVH—東芝訴訟控訴審 知的財産高等裁判所の判決.....	9
平成23年度(第66回) 文化庁芸術祭賞贈呈式開催.....	10
2011年ミリオン認定作品.....	11
私の一枚.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC.....	14

12/7

「文化芸術振興基本法制定 10周年記念シンポジウム」 開催

12月7日、東京都港区のホテル・オークラにて、音楽議員連盟(音議連)と文化芸術推進フォーラムが主催する「文化芸術振興基本法制定10周年記念シンポジウム」が開催された。

同フォーラム野村萬議長の挨拶で開始したシンポジウムは、中川正春文部科学大臣からの来賓挨拶に続き、鈴木寛幹事長の司会のもと、5名の国会議員が、文化芸術振興基本法制定後の10年間の成果検証と共に積み残された課題について、白熱した議論を展開した。特に、「文化芸術予算の増額」「私的録音録画補償金制度の見直し」「映画監督等の著作権の見直し」「著作権および著作隣接権の保護期間延長」といった課題について、実現すべき次代の政策等、前向きで力強い意見が飛び交うシンポジウムとなった。

司会：鈴木寛(音議連幹事長 民主)

パネリスト：市田忠義(音議連副会長 共産)、斉藤鉄夫(音議連副会長 公明)、塩谷立(音議連副会長 自民)、服部良一(音議連副会長 社民)

(敬称略、50音順)



12/8

「大人の音楽～Age Free Music～」キャンペーン 懇談会開催

12月8日、東京都港区のユニバーサル ミュージックにおいて、「大人の音楽～Age Free Music～」キャンペーン懇談会が開催された。

懇談会には、販売店・マスコミ関係など関係者約80名が招かれ、11月30日スタートの同キャンペーン第7弾の概要、12月7日発売のコンピレーションアルバム「絆～ありがとう～(UICZ-8092)」「絆～一番大切なもの～(MHCL-2004)」、富澤一誠氏著書「Age Free Music 大人の音楽」オフィシャルブックが紹介された。

冒頭、当協会高杉常務理事は「業界全体の施策として盛り上げ、お客様をお店に呼び込んでいきたい」と挨拶した。続いて「Age Free Music」提唱者の富澤一誠氏による乾杯に続く歓談では本キャンペーンに関するエピソードが述べられた。最後に当協会需要拡大ワーキングチーム大人の音楽キャンペーン分科会座長であるユニバーサルミュージック合同会社喜本孝副社長が「キャンペーンの対象作品から、チャートを賑わすヒットが出ることを期待する」と語り、懇談会は盛況のうちに幕を閉じた。

12/12

NPO法人企業教育研究会と 実験授業を実施

12月12日、当協会協力のもと、NPO法人企業教育研究会(ACE)が小学生を対象とした実験授業を実施し



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

た。今回の授業は、千葉県野田市立中央小学校 6 年 1 組のクラスで「プロの音作りを学ぶ」をテーマに実施したもので、授業実施に際して当協会が資料提供等の協力を行った。

当日は実際の録音体験やレコーディングスタジオの様子、レコーディングエンジニアへのインタビューをまとめた映像などを通してプロのレコーディングの様子を学び、最後に高音質 CD の試聴体験を行った。授業後、生徒たちからは「これからは音楽をもっと真剣に聴きたいと思った」等の感想が寄せられた。



12/13

Shareを悪用して著作権侵害を行っているユーザーに、啓発メール送付を開始

当協会が加盟する、ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会 (CCIF) では、2011 年 12 月より、著作権侵害ファイルを共有 (公開) している Share ユーザーに対して、啓発メールを送付する活動を開始した。

CCIF は、2008 年 5 月より、通信事業者団体および著作権等権利者団体がファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害に対して連携して対策を行うための活動を進めている。2010 年 3 月からは、著作権侵害であると確認されたコンテンツを共有 (公開) している Winny ユーザーに対し、著作権侵害

ファイルの削除を要請する啓発メール送付を実施しており、2011 年 9 月現在で、延べ 10,000 通を超える啓発メールを送付した。その利用の大半である Share ネットワークも今回対象として追加することとなったものである。
※詳細は、CCIF サイト (<http://www.ccif-j.jp/activity.html>) を参照

1/5

2012年新年賀詞交歓会開催

当協会は 1 月 5 日、東京都千代田区のホテルニューオータニ「芙蓉の間」において、毎年恒例の新年賀詞交歓会を開催した。

当日は、当協会北川会長の挨拶に始まり、来賓を代表して近藤誠一文化庁長官からのご挨拶の後、近藤賢二内閣官房内閣審議官および音楽関係団体代表者による鏡開きに続いて、長尾真国立国会図書館長より乾杯のご発声をいただき、賀詞交歓と歓談に移った。また、創立 70 周年を記念した特別功労者表彰および理事功労者表彰も併せて行われた。会場には国会議員の方をはじめとする 950 名が一堂に会し、新年の挨拶を交わし合う賑やかな会となった。

当日ご出席頂いた国会議員の方々。
(敬称略、50 音順)
甘利明 (自民・衆)、荒木清寛 (公明・参)、市田忠義 (共産・参)、遠藤利明 (自民・衆)、海江田万里 (民主・衆)、柿沢未途 (みんな・衆)、片山さつき (自民・参)、河村建夫 (自民・衆)、小坂憲次 (自民・参)、小林興起 (民主・衆)、斉藤鉄夫 (公明・衆)、柴山昌彦 (自民・衆)、富田茂之 (公明・衆)、野田毅 (自民・衆)、古屋圭司 (自民・衆)、牧山ひろえ (民主・参)、松崎哲久 (民主・衆)、三原じゅん子 (自民・参)、宮本岳志 (共産・衆)

RIAJ2012 年 1 月度理事会議案

■ 審議事項

1. 平成 24 年度重点施策及び収支予算
2. 邦盤貸し使用料等新分配ルールの運用開始
3. 委員長人事
4. 顧問委嘱の件

■ 報告事項

1. 平成 23 年度第 3 四半期の重点施策進捗状況および予算執行状況
2. 法制委員会関係報告
 - (1) TUBEFIRE 訴訟の経過
 - (2) SARVH- 東芝訴訟 (控訴審判決)
 - (3) NHK との二次使用料協議状況
 - (4) コンテンツ強化専門調査会報告
3. 情報技術委員会関係報告
 - (1) 放送局向けオンラインプロモーションに関するヒアリング結果と今後の進め方
4. マーケティング委員会関係報告
 - (1) 「第 4 回 CD ショップ大賞」一次投票結果および今後のスケジュール
 - (2) 「ミュージック・ジャケット大賞」TV 報道状況
5. 広報委員会関係報告
 - (1) 「第 26 回日本ゴールドディスク大賞」授賞式
6. レコード倫理審査会報告
 - (1) 2011 年レコード倫理審査会審議実績
7. その他報告
 - (1) 違法ダウンロード罰則規定の進捗

●●●当協会役員人事●●●

■ 退任 (12 月 31 日付)

[理事・副会長] 稲垣 博司
エイベックス・マーケティング株式会社
代表取締役会長

■ 新任 (1 月 16 日付)

[理事] 林 真司
エイベックス・マーケティング株式会社
代表取締役社長

■ 新任 (2 月 1 日付)

[顧問] 稲垣 博司 (音楽市場環境整備特命担当)
エイベックス・エンタテインメント株式会社
顧問

●●●当協会事務局人事●●●

■ 退職 (1 月 31 日付)

外丸 成夫 東京調査室総括室長

■ 異動 (2 月 1 日付)

露木 一博 東京調査室調査室長
(前: 管理部人事・総務グループ)

2011年度「音楽メディアユーザー実態調査」公表

当協会では、音楽メディアの需要構造を総合的に把握することを主な目的として、1986年以降「音楽メディアユーザー実態調査」を毎年実施している。26回目となる今年度は「エルダー層」「新しい販売ルート」「スマートフォン」に焦点を当てた考察を行った。本誌では、市場概要を中心にダイジェストで紹介する。

【調査概要】

項目	内容
調査対象者	12～69歳男女
調査地域	全国
調査方法	インターネットアンケート調査、グループインタビュー調査
調査時期	2011年8月（インターネットアンケート）、2011年10月（グループインタビュー）

※ウェイトバック集計について

右表のとおり性年代・地域別に概ね均等に回収するとともに、平成17年度国勢調査を参照し、実際の人口構成比に合わせて補正集計する「ウェイトバック集計」を採用。

※調査報告書は当協会ホームページよりダウンロードできます。
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

【回収数】

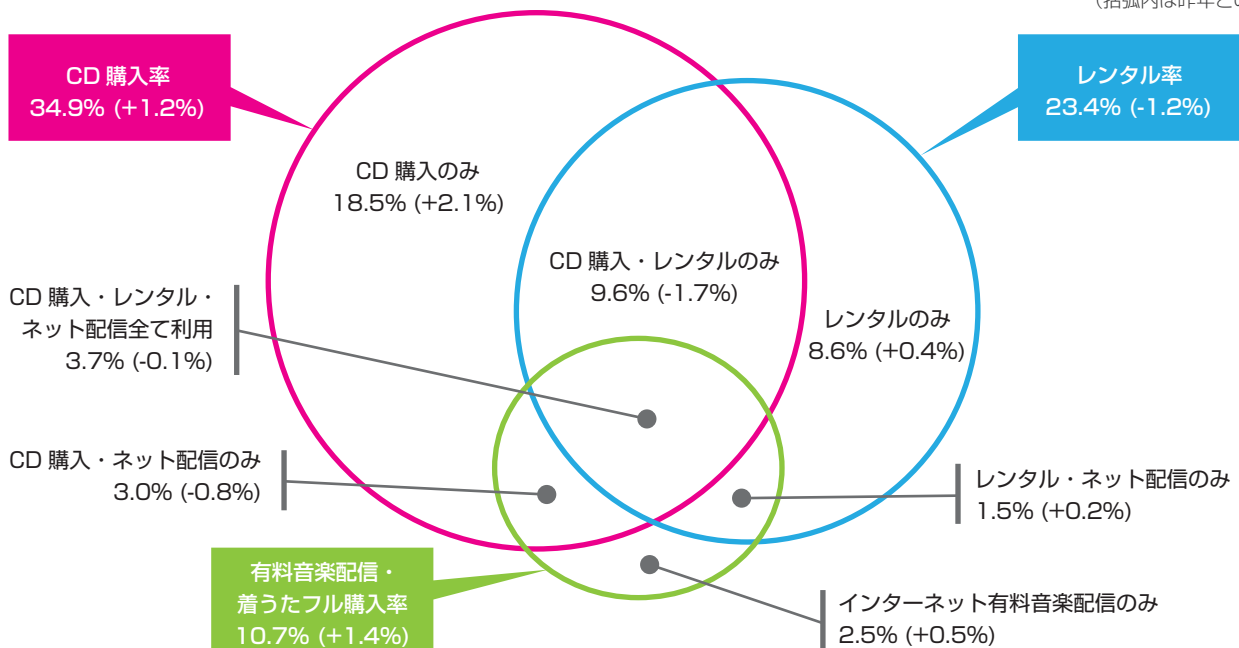
		北海道・東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国・四国・九州地方	計
男性	中学生	30	62	36	51	42	221
	高校生	71	62	64	64	63	324
	大学生	85	62	86	71	81	385
	20代社会人	62	62	62	62	62	310
	30代	62	62	62	62	62	310
	40代	62	62	62	62	62	310
女性	50代	62	62	62	62	62	310
	60代	62	62	62	62	62	310
	中学生	43	62	49	61	40	255
	高校生	72	62	64	63	61	322
	大学生	71	62	73	62	85	353
	20代社会人	62	62	62	62	62	310
女性	30代	62	62	62	62	62	310
	40代	62	62	62	62	62	310
	50代	62	62	62	62	62	310
	60代	62	62	62	62	62	310
計		992	992	992	992	992	4,960

CD購入率、有料音楽配信・着うたフル購入率は昨年度と比較し微増となった一方、CDレンタル率は減少した。年代別マーケットシェアでは、CD購入と有料音楽配信（インターネット）では若年層（学生～20代社会人）が伸長したものの、着うたフルでは若年層のシェアが大きく減少した。

図1 CD購入、レンタル率、有料音楽配信・着うたフル購入率の割合

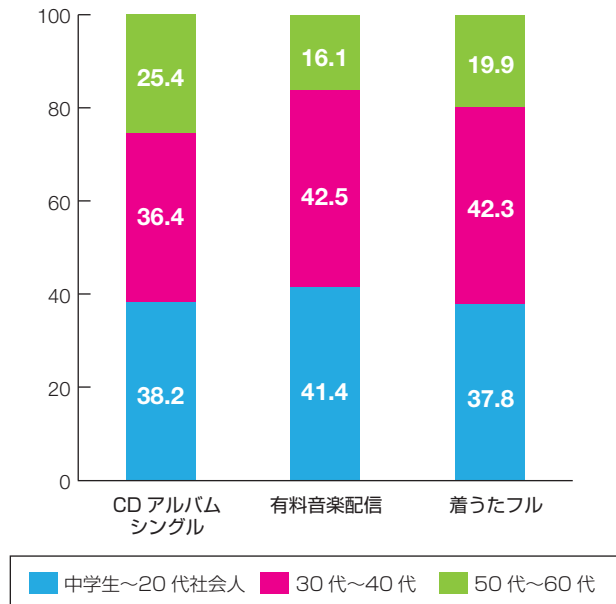
CD購入率は34.9%、レンタル率は23.4%、有料音楽配信・着うたフル購入率は10.7%。

（括弧内は昨年との差分）



ベース：全対象者（N=4,960） ※ CD（新品 / 中古含む）、レンタル、有料音楽配信・着うたフルそれぞれ過去半年以内の購入・レンタル率

図2 年代別推定マーケットシェア



★ マーケットシェアの推計方法 (2011年) ★

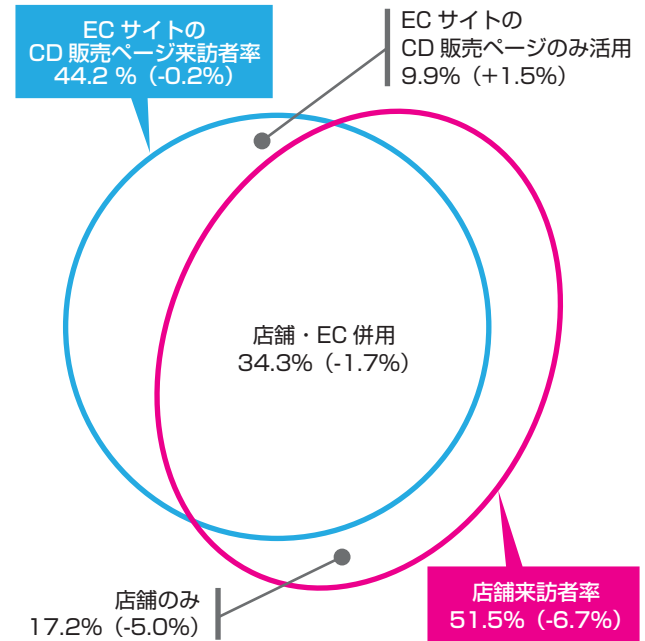
性・年代別、居住地域別のアルバム・シングル（新品・中古含む）年間購入枚数合計（いずれかを購入した人の合計枚数）を、それぞれ実際の人口^{※1}及び平均単価^{※2}を乗じて構成比を算出

- ※1：平成21年10月1日時点（総務省統計局公開情報に基づく）
- ※2：アルバム1枚＝1,271円、シングル1枚＝553円（日本レコード協会 CD生産実績 2011年8月実績より、CDアルバム及びCDシングルについてそれぞれの生産量を生産額で除して算出）

図3 店舗・ECサイトの利用状況

店舗来訪者（51.5%）はECサイト来訪者（44.2%）よりも多いものの、昨年度調査よりも差が縮まった。店舗とECサイトのどちらも利用する人は34.3%。

（括弧内は昨年との差分）

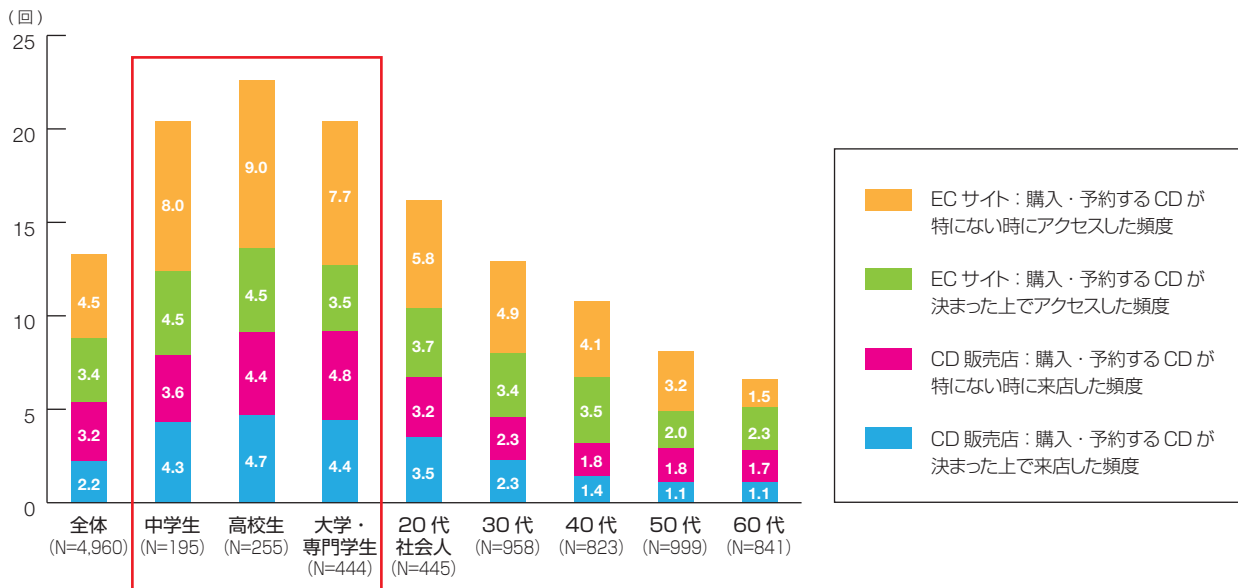


ベース：全対象者（N=4,960）

※購入・予約するCDが決まっている・決まっていない、を問わない

図4 店舗・ECサイトの訪問回数

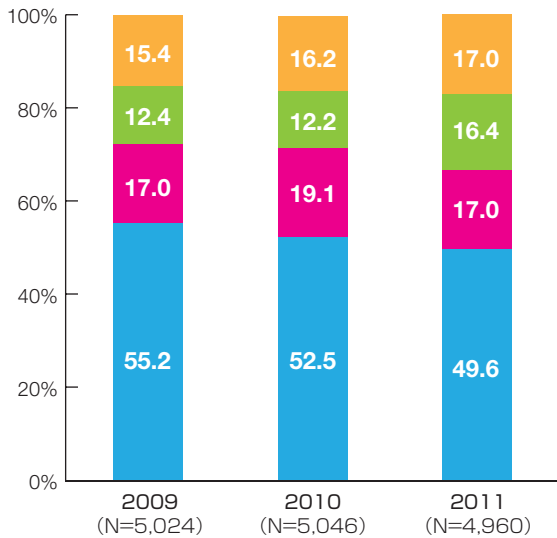
中学生～大学・専門学校生は、購入目的の有無に関わらず、各販売チャネルの利用回数が多。



ベース：全対象者（N=4,960）

図5 音楽との関わり方に関するセグメント構成比

有料聴取層の減少、無関心層の増加の傾向が継続。



無関心層: 「音楽にお金を支払っておらず、特に自分で音楽を聴こうとしていない」
 無料聴取層 (既知楽曲のみ): 「音楽にお金を支払っておらず、以前から知っていた楽曲しか聴いてない」
 無料聴取層: 「音楽にお金を支払っていないが、新たに知った楽曲も聴いている」
 有料聴取層: 「音楽を聴くために、音楽商品を購入したり、お金を支払ったりしたことがある」

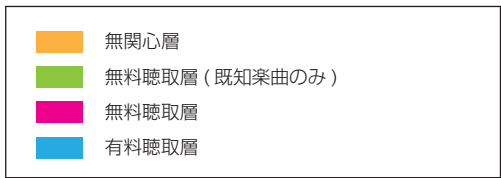


図6 年代別の音楽との関わり方に関する各セグメント構成比

特に、学生と50代以上の「有料聴取層」の減少が著しく、全ての年代において、「無料聴取層 (既知楽曲のみ)」が増加した。

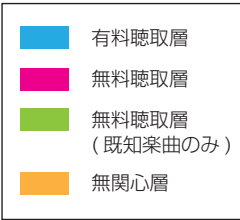
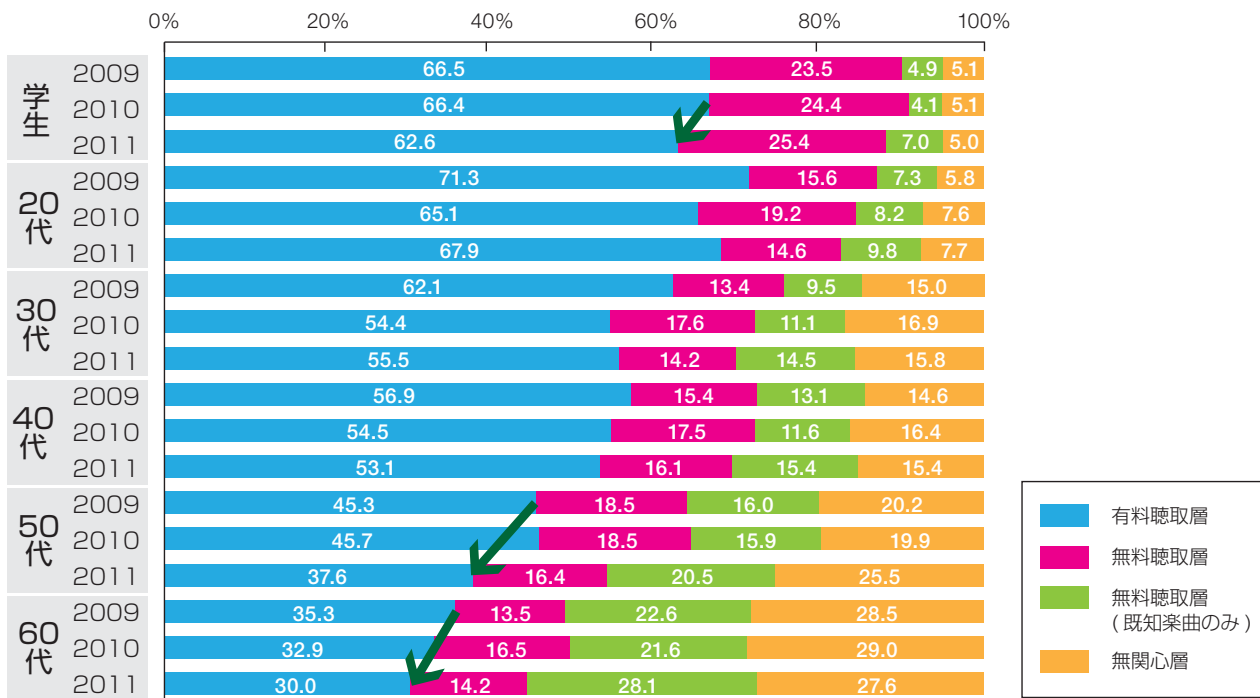
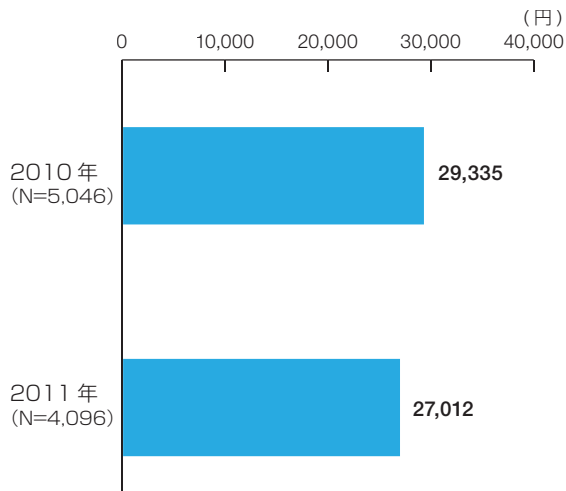


図7 1ヶ月に自由に使えるお小遣いの金額(円)

「自由になるお小遣い」は全体でも昨年比8%減。特に男女とも40代で大きく減少(男性24%減、女性23%減)したため、男女とも50代・60代が40代を上回った。特に50～60代の男性は平均金額が35,000円を超える。



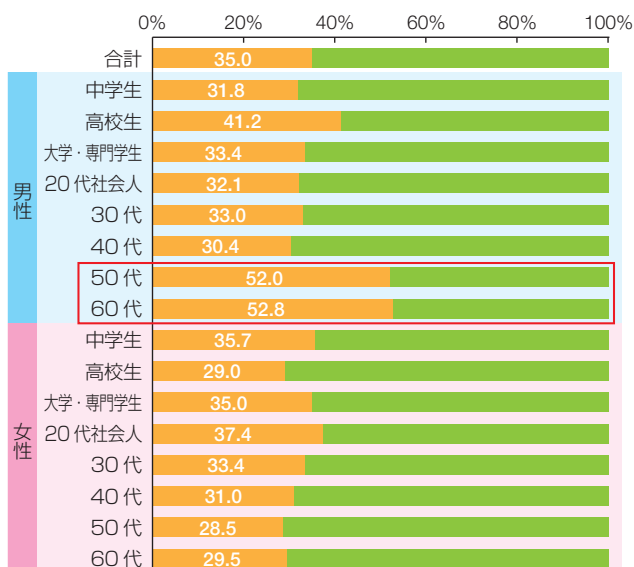
		N	平均金額
合計		4,960	27,011.7
男性計		2,480	31,087.0
女性計		2,480	22,921.2
男性	中学生	221	3,540.6
	高校生	324	6,086.0
	大学・専門学生	385	19,892.7
	20代社会人	310	39,347.5
	30代	310	34,947.0
	40代	310	32,362.2
	50代	310	35,610.1
女性	60代	310	35,905.2
	中学生	255	2,696.6
	高校生	322	6,765.1
	大学・専門学生	353	27,156.0
	20代社会人	310	40,239.0
	30代	310	19,792.3
	40代	310	19,516.0
地域	50代	310	23,826.4
	60代	310	26,961.8
	北海道	513	25,369.5
	東北地方	479	23,288.6
	関東地方	992	29,676.5
	中部地方	992	24,067.0
	近畿地方	992	28,947.9
中国地方	341	28,692.3	
四国地方	89	21,973.7	
九州地方	562	23,556.5	

■ 全体平均よりも5pt以上高い箇所 ■ 全体平均よりも5pt以上低い箇所

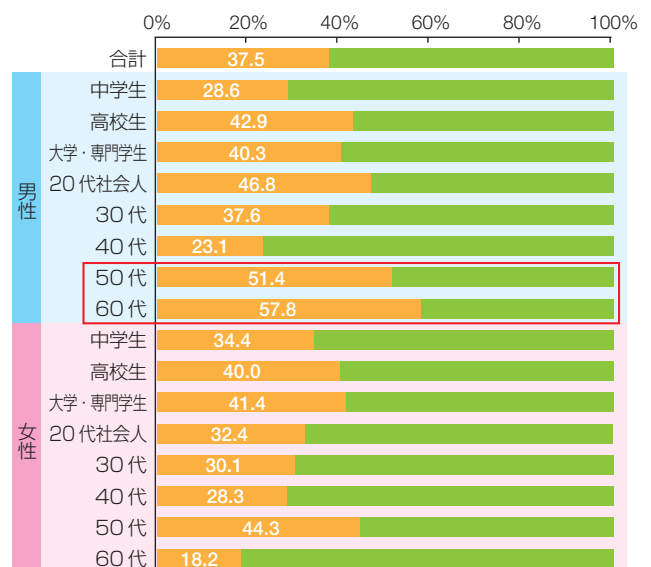
図8 衝動買い経験の有無

性年代別に見ると、50～60代男性は「衝動買い比率(購入目的とは別のCDを購入した、無目的に来店してCDを購入した)」が最も高い。図7の通り、50～60代男性は自由になるお小遣いの金額が最も多い層でもあり、この層の音楽への関心やCD店への来店頻度を高めることがエルダー層の需要拡大につながると考えられる。

【購入・予約CDが決まっているときの衝動買い】



【購入・予約CDが特がないときの衝動買い】



■ ある ■ ない

■ ある ■ ない

第26回 日本ゴールドディスク大賞 発表!

当協会は、1月27日、東京都港区のニコファーレにおいて、第26回日本ゴールドディスク大賞授賞式を開催し、授賞作品を発表した。今年度の授賞作品・アーティストは60作品・アーティストであり、「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」には、邦楽部門でAKB48、洋楽部門でレディー・ガガが受賞した。

授賞式の詳細は3月号で紹介する。(http://www.golddisc.jp)



※同一賞内のアーティスト及び同一アーティストの作品は、すべて五十音順

アーティスト賞				
賞名	区分	タイトル	アーティスト名	発売会社
アーティスト・オブ・ザ・イヤー	邦楽	—	AKB48	キングレコード、デフスターレコーズ、AKS
	洋楽	—	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック
ベスト・エイジアン・アーティスト	アジア	—	KARA	ユニバーサル ミュージック
ベスト・演歌／歌謡曲・アーティスト	—	—	氷川 きよし	日本コロムビア
ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー	邦楽	—	Kis-My-Ft2	エイベックス・マーケティング
	洋楽		LMFAO	ユニバーサル ミュージック
	アジア		2PM	アリオラジャパン
ベスト5ニュー・アーティスト	邦楽	—	あやまん JAPAN	よしもとアール・アンド・シー
			NMB48	laugh out loud! records
			薫と友樹、たまにムック。	ユニバーサル ミュージック
			Kis-My-Ft2	エイベックス・マーケティング
			back number	ユニバーサル ミュージック
ベスト3ニュー・アーティスト	洋楽	—	LMFAO	ユニバーサル ミュージック
			ニッキー・ミナージュ	ユニバーサル ミュージック
			ブルーノ・マーズ	ワーナーミュージック・ジャパン
ベスト3ニュー・アーティスト	アジア	—	チャン・グンソク	ポニーキャニオン
			2PM	アリオラジャパン
			BEAST	ユニバーサル ミュージック
ベスト・演歌／歌謡曲・ニュー・アーティスト	—	—	パク・ヒョンビン	ソニー・ミュージックダイレクト

アルバム賞				
賞名	区分	タイトル	アーティスト名	発売会社
アルバム・オブ・ザ・イヤー	邦楽	いきものばかり ～メンバーズ BEST セレクション～	いきものがかり	エピックレコードジャパン
	洋楽	ボーン・ディス・ウェイ	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック
	アジア	GIRLS' GENERATION	少女時代	ユニバーサル ミュージック
ベスト5アルバム	邦楽	Beautiful World	嵐	ジェイ・ストーム
		いきものばかり ～メンバーズ BEST セレクション～	いきものがかり	エピックレコードジャパン
		ここにいたこと	AKB48	キングレコード
		願いの塔	EXILE	エイベックス・マーケティング
		SENSE	Mr.Children	トイズファクトリー
ベスト3アルバム	洋楽	グッバイ・ララバイ	アヴリル・ラヴィーン	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
		グレイテスト・ヒッツ	ボン・ジョヴィ	ユニバーサル ミュージック
		ボーン・ディス・ウェイ	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック
ベスト3アルバム	アジア	ガールストーク	KARA	ユニバーサル ミュージック
		GIRLS' GENERATION	少女時代	ユニバーサル ミュージック
		TONE	東方神起	エイベックス・マーケティング

クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー	-	神様のカルテ ～辻井伸行 自作集	辻井 伸行	エイベックス・マーケティング
ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー	-	ノラ・ジョーンズの自由時間	ノラ・ジョーンズ	EMI ミュージック・ジャパン
インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤー	-	THE BEST OF TARO HAKASE	葉加瀬 太郎	ハッツ・アンリミテッド
サウンドトラック・アルバム・オブ・ザ・イヤー	-	パーレスク	オリジナル・サウンドトラック	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
アニメーション・アルバム・オブ・ザ・イヤー	-	銀魂 BEST2	銀魂	アニプレックス
純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー	-	第四十七回 コロムビア全国吟詠コンクール課題吟 苧環	日本コロムビア吟詠音楽会	日本コロムビア
企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー	-	ラブ・ソングス	シェネル	EMI ミュージック・ジャパン

シングル賞				
賞名	区分	タイトル	アーティスト名	発売会社
シングル・オブ・ザ・イヤー	-	Everyday、カチューシャ	AKB48	キングレコード
ベスト5シングル	-	Everyday、カチューシャ	AKB48	キングレコード
		風は吹いている	AKB48	キングレコード
		桜の木になろう	AKB48	キングレコード
		チャンスの順番	AKB48	キングレコード
		フライングゲット	AKB48	キングレコード

配信楽曲賞				
賞名	区分	タイトル	アーティスト名	発売会社
ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード	邦楽	流星	コブクロ	ワーナーミュージック・ジャパン
	洋楽	ボーン・ディス・ウェイ	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック
	アジア	ジャンピン	KARA	ユニバーサル ミュージック
ベスト5ソング・バイ・ダウンロード	-	Everyday、カチューシャ	AKB48	キングレコード
		マル・マル・モリ・モリ!	薫と友樹、たまにムック。	ユニバーサル ミュージック
		ジャンピン	KARA	ユニバーサル ミュージック
		流星	コブクロ	ワーナーミュージック・ジャパン
		この夜を止めてよ	JUJU	ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ

ビデオ賞				
賞名	区分	タイトル	アーティスト名	発売会社
ベスト・ミュージック・ビデオ	邦楽	ARASHI 10-11 TOUR“Scene”～君と僕の見ている風景～ STADIUM	嵐	ジェイ・ストーム
		ARASHI 10-11 TOUR“Scene”～君と僕の見ている風景～ DOME+	嵐	ジェイ・ストーム
		AKB がいっぱい ～ザ・ベスト・ミュージックビデオ～	AKB48	AKS
	洋楽	マイケル・ジャクソン VISION	マイケル・ジャクソン	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
	アジア	BEST CLIPS	KARA	ユニバーサル ミュージック

特別賞				
賞名	区分	タイトル	アーティスト名	発売会社
特別賞	-	ソングス・フォー・ジャパン	VARIOUS	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

◎第26回日本ゴールドディスク大賞は、当該年度（2010年11月1日～2011年10月31日）の正味売上に基づき各賞を授与

特報

Special Report

当協会創立 70 周年記念 特別功労者表彰、理事功労者表彰を実施

当協会は、1月5日の新年賀詞交歓会において、創立70周年記念特別功労者表彰および理事功労者表彰を実施した。

本年4月30日に当協会が創立70周年を迎えるに当たり、レコード産業および当協会の事業にご尽力、多大な貢献をされた杉良太郎氏を特別功労者として、また、理事功労者として、池口頌夫氏（元キングレコード株式会社代表取締役）、早川恒夫氏（元株式会社バップ代表取締役）、佐藤修氏（株式会社ポニーキャニオン取締役相談役／当協会顧問）および稲垣博司氏（エイベックス・エンタテインメント株式会社顧問）の4名を表彰、トロフィーと記念品を贈呈した。

当協会が特別功労者を表彰するのは創立以来今回が初めてであり、表彰の理由は、(1)「東日本大震災復興祭2011」災害支援大使としての活動、(2)音楽による日越文化交流への貢献、(3)「違法ダウンロード撲滅」のための活動である。



特別功労者 杉良太郎氏



理事功労者（左より）池口頌夫氏、早川恒夫氏、佐藤修氏、稲垣博司氏

特報

Special Report

SARVH – 東芝訴訟控訴審 知的財産高等裁判所の判決

2011年12月22日、私的録画補償金管理協会（SARVH）による、アナログチューナー非搭載のDVD録画機器を製造・販売しながら「(当該録画機器の購入者に対する)私的録画補償金の支払の請求およびその受領に関する協力」を拒否した株式会社東芝（東京都港区）に対する訴訟の控訴審において、知的財産高等裁判所（塩月秀平裁判長）の判決が出された。2009年11月10日の東京地裁への提訴以来、レコード製作者団体としてSARVHの構成団体である当協会は、これまで本件訴訟を遂行するSARVHを全面的に支援してきたが、知的財産高等裁判所の判断はSARVHの控訴を棄却するという結果であった。

本件訴訟における争点およびその控訴審判断は、次の通り。

【争点1】被控訴人（東芝）各製品の「特定機器」該当性

：被控訴人各製品は、著作権法施行令（政令）1条2項3号の「特定機器」に該当しない（＝私的録画補償金の対象ではない）。

【争点2】著作権法第104条の5に定める「協力義務」の法的意義

：製造業者等が協力義務に違反したときに、その違反に至った経緯や違反の態様によっては、法104条の5違反ないし争点3（被控訴人による不法行為の成否）における控訴人主張を前提とする主張が成り立つ可能性がある。

【争点3】被告東芝による不法行為の成否

：被控訴人の不法行為は成立しない。

SARVHは今回の控訴審判決を不服として、2011年12月28日、最高裁判所へ上告および上告受理申立てを行った。当協会は引き続き上告審においてもSARVHを全面的に支援していく。

私的録音録画補償金制度は、著作権法上の制度として規定されているながら空洞化しつつある。そのため、権利者は、権利を制限されているにもかかわらず適切な代償措置を受けていない。

当協会は、私的録音録画補償金制度を録音録画実態に合わせた制度に変更、あるいは私的録音録画補償金制度に代わる新たな権利者への代償措置の導入に向けた取り組みを、関係団体と連携を執りながら推進していく。

平成 23 年度 (第 66 回) 文化庁芸術祭賞贈呈式開催

1月31日、東京都千代田区の如水会館において、平成23年度(第66回)文化庁芸術祭賞贈呈式が開催された。

文化庁芸術祭は、広く一般に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術の創造と発展を図り、我が国文化の向上と振興に資するため、文化庁が昭和21年より毎年実施しているものである。今回は演劇52件、音楽35件、舞踊34件、大衆芸能45件、テレビ・ドラマ13作品、テ

レビ・ドキュメンタリー36作品、ラジオ17作品、レコード36作品といった各部門への参加作品の中から、高い獨創性や企画性など優れた成果をあげた芸術家や団体に対し、大賞、優秀賞、新人賞が贈られた。

ここではレコード部門で受賞した大賞1作品および優秀賞3作品を、審査委員会による受賞理由とともに紹介する。

大賞



マーラー 交響曲第9番 二長調

株式会社フォンテック

山田一雄指揮による同曲の演奏は、師プリングスハイムの東京音楽学校(現東京藝大)における1930年代の積極的なマーラー公演から半世紀、日本音楽界におけるマーラー演奏の到達した一つの頂点として貴重な記録である。1986年のライブ録音を通じて、過去から現在に至るマーラー演奏の歴史性が明らかにされる。その高い芸術性と記録性は、大賞にふさわしいといえよう。

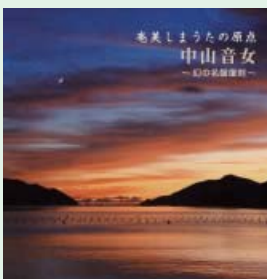
優秀賞



テレマン：無伴奏ヴァイオリンのための12のファンタジア(全曲)

日本コロムビア株式会社

演奏者に委ねられた創造的なコラボレーションの可能性を最大限に活かしつつも奇抜な効果を狙うことなく、むしろ端正に歌い上げ、かつ躍動感をもって各曲の多彩な個性を生き生きと浮かび上がらせた。暖かみと奥行き感のある録音は音楽の息遣いとその輝きや深みを伝えることに成功し、演奏者自身による解説も充実している。



奄美しまうたの原点／中山音女 ～幻の名盤復刻～

公益財団法人日本伝統文化振興財団

昭和3年に奄美のウタシャ(唄者)とよばれた中山音女が吹き込んだSPの復刻盤である。かなり聴き込まれたSP音盤からの復刻は技術的に困難をとまなうが、当時の音声を彷彿とさせる聴きやすいCDとなっている。解説書に多少の不備がみられるが、現代のウタシャの歌唱法とはかなり異なり、しまうたの変遷を知る上で貴重な資料である。



日本の変奏曲

ベルウッド・レコード株式会社

これは日本洋楽黎明期の山田耕筰から戦後の柴田南雄に至る七人の邦人作曲家の、変奏曲のみに焦点を当てた録音である。一つの形式に焦点を絞ることで、日本の作曲家が西洋音楽とどう取り組んできたかを浮き上がらせる、卓抜な構想である。ここに収録されているのは、これまで録音がなかったものがほとんどであるが、作品の水準は極めて高く、花岡千春の演奏も大変に充実している。

特報

Special Report

2011年ミリオン認定作品

※ 2011年に認定された作品(2010年以前に発売されたものを含む)

CD

※日付は発売日

アルバム

ミリオン



ザ・フェイム
レディー・ガガ

2009.05.20
ユニバーサル ミュージック



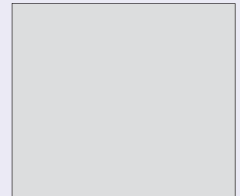
願いの塔
EXILE

2011.03.09
エイベックス・マーケティング



ここにいたこと
AKB48

2011.06.08
キングレコード



Beautiful World
嵐

2011.07.06
ジェイ・ストーム

シングル

ミリオン



桜の木になろう
AKB48

2011.02.16
キングレコード



Everyday、カチューシャ
AKB48

2011.05.25
キングレコード



フライングゲット
AKB48

2011.08.24
キングレコード



風は吹いている
AKB48

2011.10.26
キングレコード



上からマリコ
AKB48

2011.12.07
キングレコード

音楽配信

※日付は配信開始日

着うた®

3ミリオン



Story

AI
2005.04.18
ユニバーサル ミュージック

2ミリオン



桜
コブクロ

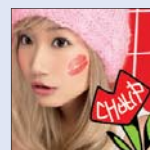
2005.11.02
ワーナーミュージック・ジャパン

ミリオン



アンパンマンのマーチ
ドリーミング

2003.05.19
パップ



CHU-LIP

大塚 愛
2007.01.18
エイベックス・マーケティング

着うたフル®

ミリオン



Story

AI
2006.02.01
ユニバーサル ミュージック



道

EXILE
2007.02.07
エイベックス・マーケティング



PEACH

大塚 愛
2007.05.18
エイベックス・マーケティング



愛のうた

倅田 來未
2007.09.06
エイベックス・マーケティング



愛をこめて花束を

Superfly
2008.01.11
ワーナーミュージック・ジャパン



Lovers Again

EXILE
2007.01.17
エイベックス・マーケティング



銀河鉄道 999

EXILE
2008.02.27
エイベックス・マーケティング



イチブトゼンブ

B'z
2009.07.14
パーミリオンレコード



Best Friend

西野 カナ
2010.02.03
エスエムイーレコーズ



君って

西野 カナ
2010.10.06
エスエムイーレコーズ



ヘビーローテーション

AKB48
2010.08.04
キングレコード

私の一枚



五十嵐弘之

一般社団法人 日本レコード協会 監事
株式会社ドリーミュージック
代表取締役社長



●「渚にて」 (ニールヤング)

『渚にて』は、ニール・ヤングのアルバムの中で、頭抜けたセールスや高い評価があるわけではないけれど、なぜか手放せなくて聴き続けています。おそらく訳者村上春樹がその巻末の解説で、『リトル・シスター』をレイモンド・チャンドラー作品の中で位置づけたのと同じような意味で、私にとって“愛おしい”1枚なのだからだと思います。

ニールのソロはどれもそうなのですが、楽曲の強度とか演奏の見事さとは別の、ニール・ヤングだから、というまさに生物学的魅力(声や風貌はもちろん、その立居振舞も含めて)に溢れています。ほかの、『今宵この夜』の徹底したやけくそな感じや、まとまりのない『American Stars'n Bars』なんかも大好きなのに、なんで『渚にて』かと言うと、うまく表現できない。あえて例えれば、暗闇の中にほのかな光が見えている感じ、とでもいうか。全然わからないですね。すみません。

『ハーヴェスト』の商業的成功の後、思うように作品を創れない時期に、クレイジーホースのメンバーであった盟友ダニー・ウィットンとCSN&Yのローディーだったブルース・ペリーの死に遭い、スタジオ録音として完成度が高い『ハーヴェスト』とは対極の『今宵この夜』(テキーラを叫び、酩酊状態で録音したとも言われています)をレコーディングするもオクラ入り。代わりにリリースされた『渚にて』は、『今宵この夜』の影を引きずりながらも、1曲目「Walk on」で“やってらんないよな”とか“どうしてこんなになっちゃたんだろう”という気持ちを持ちつつも“歩き続けよう”と歌い、この1枚を通過して、今も反骨精神旺盛に活躍する彼が居るのかなとも感じます。

ジャケットの、黄と青を基調とした、どこか物哀しいアートワークも秀逸で、眺めて飽きません。季節はずれの砂浜に、テールフィンだけを残して埋もれたキャデラック。ビーチパラソルの脚元に読み捨てられた新聞がからまり、ひと気のない波打ち際に立って海をぼんやり眺める心持が伝わってきます。フロントだけではなく、砂地に観葉植物がぽつんと置かれているバックカバー、ビーチパラソルと同じ花柄がインナースリーブにあしらわれたジャケットデザインは、30cmLPのサイズじゃないとちょっと良さが伝わらないかもしれません。

1974年の発売当初は、彼をスターダムに押し上げた『ハーヴェスト』以来のスタジオ録音アルバムということで期待していた批評家やファンにはあまりウケが良くなく、“この10年で最も絶望的なアルバムの1枚”なんてローリングストーン誌に書かれたくらいですが、今では、このアルバムが1番好きという、私のようなファンも多く居ると聞きます。

Monthly Production Report

2011年12月度レコード生産実績

12月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比140%の2,951万枚・巻、金額で129%の339億円となった。

このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比129%の2,097万枚・巻、金額で123%の235億円となり、また、音楽ビデオは、数量で前年同月比174%の854万枚・巻、金額で143%の104億円となった。

この結果、2011年1月～12月の累計では、音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年比101%の2億5,969万枚・巻、金額で99%の2,819億円となった。このうち、オーディオレコードは、数量で前年比95%の1億9,951万枚・巻、金額で94%の2,117億円となり、また、音楽ビデオは、数量で前年比129%の6,017万枚・巻、金額で120%の702億円となった。

オーディオレコードの2011年年間実績では、CDシングルが数量で前年比123%、金額で前年比116%となり、昨年に引き続き2年連続で前年を上回った。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	12月実績						2011年1月～2011年12月累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シ	8cmCD	邦	3	0	54%	2	0	62%	3,146	2	2953%	225	0	570%
		洋	0	0	-	0	0	-	5	0	1350%	1	0	302%
		計	3	0	56%	2	0	65%	3,152	2	2947%	225	0	568%
ン	12cmCD	邦	5,724	27	180%	4,072	17	196%	57,878	29	116%	42,072	20	114%
		洋	32	0	83%	23	0	89%	1,369	1	267%	943	0	258%
		計	5,756	27	179%	4,095	17	194%	59,247	30	117%	43,015	20	116%
グ	小計	邦	5,726	27	180%	4,074	17	195%	61,025	31	122%	42,296	20	115%
		洋	32	0	84%	23	0	89%	1,374	1	267%	944	0	258%
		計	5,759	27	178%	4,097	17	194%	62,399	31	123%	43,240	20	116%
ル	12cmCD アルバム	邦	10,930	52	130%	15,836	67	126%	96,669	48	84%	128,253	61	89%
		洋	4,016	19	93%	3,254	14	78%	37,495	19	91%	37,007	17	91%
		計	14,946	71	117%	19,090	81	114%	134,164	67	86%	165,260	78	89%
CD 合計	邦	16,656	79	143%	19,910	85	136%	157,693	79	96%	170,550	81	94%	
	洋	4,048	19	93%	3,277	14	79%	38,869	19	93%	37,951	18	92%	
	計	20,705	99	130%	23,188	99	123%	196,563	99	95%	208,501	99	94%	
アナログ ディスク	邦	11	0	2703%	16	0	1595%	125	0	243%	202	0	241%	
	洋	17	0	94%	25	0	82%	84	0	157%	134	0	154%	
	計	28	0	148%	40	0	131%	210	0	199%	336	0	197%	
カセット テープ	邦	153	1	69%	129	1	73%	2,104	1	73%	1,727	1	75%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%	
	計	153	1	69%	129	1	73%	2,104	1	73%	1,727	1	75%	
その他	邦	12	0	110%	19	0	113%	191	0	114%	226	0	108%	
	洋	72	0	784%	130	1	812%	445	0	221%	864	0	303%	
	計	84	0	417%	149	1	454%	635	0	172%	1,090	1	220%	
合計	邦	16,832	80	142%	20,074	85	135%	160,113	80	95%	172,704	82	94%	
	洋	4,137	20	94%	3,431	15	81%	39,399	20	94%	38,949	18	94%	
	計	20,970	100	129%	23,505	100	123%	199,511	100	95%	211,653	100	94%	

● 音楽ビデオ

	12月実績						2011年1月～2011年12月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	7,546	88	183%	8,191	79	134%	52,909	88	129%	58,537	83	114%
	洋	607	7	101%	671	6	114%	5,233	9	106%	5,519	8	106%
	計	8,153	95	172%	8,862	85	133%	58,143	97	127%	64,056	91	113%
テープ・その他		389	5	219%	1,516	15	258%	2,031	3	355%	6,140	9	289%
合計	邦	7,927	93	185%	9,682	93	146%	54,801	91	132%	64,285	92	121%
	洋	615	7	100%	695	7	112%	5,373	9	107%	5,911	8	106%
	計	8,542	100	174%	10,377	100	143%	60,174	100	129%	70,197	100	120%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

	12月実績						2011年1月～2011年12月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,970	71	129%	23,505	69	123%	199,511	77	95%	211,653	75	94%
音楽ビデオ	8,542	29	174%	10,377	31	143%	60,174	23	129%	70,197	25	120%
合計	29,512	100	140%	33,883	100	129%	259,685	100	101%	281,850	100	99%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

	12月実績						2011年1月～2011年12月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	12,038	88	115%	16,833	75	102%	106,023	89	109%	155,962	81	97%
テープ・その他	1,584	12	215%	5,477	25	199%	12,893	11	157%	35,656	19	134%
合計	13,622	100	122%	22,311	100	115%	118,916	100	113%	191,618	100	103%

● オーディオ/ビデオ合計

	12月実績						2011年1月～2011年12月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,970	61	129%	23,505	51	123%	199,511	63	95%	211,653	52	94%
ビデオ	13,622	39	122%	22,311	49	115%	118,916	37	113%	191,618	48	103%
合計	34,591	100	126%	45,816	100	119%	318,427	100	101%	403,271	100	98%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● ミリオン	Beautiful World	嵐	2011.07.06	JA
● トリプル・プラチナ	GIRLS' GENERATION	少女時代	2011.06.01	UM
● ダブル・プラチナ	Thank you, Love	西野 カナ	2011.06.22	SE
● プラチナ	THE BADDEST ~ Hit Parade ~ ファンキーモンキーベイビーズ4	久保田 利伸 FUNKY MONKEY BABYS	2011.11.23 2011.12.21	SE DRM
● ゴールド	ケツの嵐 ~春BEST~ ケツの嵐 ~夏BEST~ ケツの嵐 ~秋BEST~ ケツの嵐 ~冬BEST~ TRIBAL SOUL THE FIRST DELICIOUS TEST DRIVE featuring JASON DERULO THE MUSEUM II guitarissimo 1969	ケツメイシ ケツメイシ ケツメイシ ケツメイシ 三代目 J Soul Brothers SHINee JUJU JIN AKANISHI 水樹 奈々 miwa 由紀さおり&Pink Martini	2011.12.21 2011.12.21 2011.12.21 2011.12.21 2011.12.07 2011.12.07 2011.11.30 2011.12.07 2011.11.23 2011.04.06 2011.10.12	TF TF TF TF AMI EMI AI WJ K SR EMI

シングル

● ミリオン	上からマリコ	AKB48	2011.12.07	K
● プラチナ	BIRTH We never give up !	KAT-TUN Kis-My-Ft2	2011.11.30 2011.12.14	JA AMI
● ゴールド	Sit! Stay! Wait! Down!/Love Story やさしくなりたい Mr.Simple 僕の半分 Ultra Lover ベディキュアday Unmei♪wa♪Endless! Singing! CHASE	安室 奈美恵 斉藤 和義 SUPER JUNIOR SMAP 2PM ノースリーブス 放課後ティータイム 放課後ティータイム L'Arc~en~Ciel	2011.12.07 2011.11.02 2011.12.07 2011.12.21 2011.11.02 2011.12.28 2011.12.07 2011.12.07 2011.12.21	AMI V AMI V BV ES PC PC KS

ビデオ

● ゴールド	JAPAN FIRST TOUR GIRLS' GENERATION THANKS FOR BEIJING !!	少女時代 SMAP	2011.12.14 2011.12.07	UM V
---------------	---	--------------	--------------------------	---------

洋楽

アルバム

● ダブル・プラチナ	スーパーガール	KARA	2011.11.23	UM
● プラチナ	ラブ・ソングス	シェネル	2011.07.20	EMI
● ゴールド	ティーンエイジ・ドリーム	ケイティ・ペリー	2010.08.25	EMI

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

以降、100万毎に賞を設定

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)
※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AI**: ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ / **AMI**: エイベックス・マーケティング / **BV**: アリオラジャパン / **DRM**: ドリーミュージック / **EMI**: EMI ミュージック・ジャパン / **ES**: EPIC レコードジャパン / **JA**: ジェイ・ストーム / **K**: キングレコード / **KS**: キューンレコード / **PC**: ボニーキャニオン / **SE**: エスエムイーレコーズ / **SR**: ソニー・ミュージックレコーズ / **TF**: トイズファクトリー / **UM**: ユニバーサルミュージック / **V**: ビクターエンタテインメント / **WJ**: ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「着うた®」

邦楽

● ダブル・プラチナ	Love Story	安室 奈美恵	2011.11.02	AMI
	フライングゲット	AKB48	2011.08.03	K
	MR.TAXI	少女時代	2011.04.13	UM

「着うたフル®」

邦楽

● ミリオン	ヘビーローテーション	AKB48	2010.08.04	K
● ダブル・プラチナ	伝えたい事がこんなあるのに	INFINITY 16 welcomenz 若旦那 from 湘南乃風 & JAY'ED	2009.08.19	UM
	100万回の「I love you」	Rake	2011.03.02	BV
● プラチナ	Love Story やさしくなりたい たとえ どんなに...	安室 奈美恵 斉藤 和義 西野 カナ	2011.12.07 2011.10.21 2011.11.02	AMI V SE
● ゴールド	ハビネス Sit! Stay! Wait! Down!	AI 安室 奈美恵	2011.11.18 2011.11.30	EMI AMI

Kiss	Crystal Kay	2005.02.23	ES
恋文~ラブレター~	GReeeeN	2011.11.02	UM
人魚姫	倅田 来未	2006.07.26	AMI
LOVE SONG	三代目 J Soul Brothers	2011.05.04	AMI
あなたのうた	ソナーポケット	2010.06.16	UM
Bo Peep Bo Peep (Japanese ver.)	T-ARA	2011.09.28	EMI
progress	浜崎 あゆみ	2011.08.31	AMI
U&I	放課後ティータイム	2010.09.08	PC
EXIT	ボルノグラフィティ	2011.02.23	SE
はまぐりボンバー	矢島美容室	2009.07.08	AMI
GOOD LUCK MY WAY	L'Arc~en~Ciel	2011.06.22	KS

洋楽

● プラチナ

ベイビー・アイラブユー (English Ver.)	シェネル	2011.06.22	EMI
----------------------------	------	------------	-----

「PC 配信 (シングル)」

邦楽

● プラチナ

Everyday、カチューシャ	AKB48	2011.05.25	K
フライングゲット	AKB48	2011.08.24	K
やさしくなりたい	斉藤 和義	2011.11.02	V

● ゴールド

ハビネス	AI	2011.11.23	EMI
------	----	------------	-----

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

「第26回日本ゴールドディスク大賞授賞式」の様子が『BSスカパー!スカチャン』および『音楽&エンターテインメント専門チャンネルMTV(日本およびアジア各地域)』にて、放送が決定いたしました。2011年の音楽シーンで活躍した豪華アーティストのパフォーマンス・授賞シーンを是非ご覧下さい。

第26回日本ゴールドディスク大賞 (<http://www.golddisc.jp/>)

【放送日時】

■BSスカパー!スカチャン(ノンスクランブル放送)
3月2日(金)22:00~

■MTV

(日本国内)
4月1日(日)19:00~20:30(初回放送)
※後日リピート放送あり
(アジア各地域)
4月以降、中国、シンガポール、フィリピン、
香港、インドネシア、マレーシアなどのMTV
にて、順次放送予定



【出演者】(敬称略/五十音順)

芦田愛菜・鈴木福、あやまんJAPAN、いきものがかり、AKB48、
Kis-My-Ft2、シェネル、日本コロムビア吟詠音楽会、パク・ヒョンビン、
back number

【司会】 鮎貝健、石田ニコル

THE RECORD No.627 2012年2月号 一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 北川直樹
編集人 田口幸太郎
発行日 2012年2月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

厳しい寒さが続く毎日ですが、手袋のままでタッチパネルの操作が可能な「スマートフォン用手袋」が好調との事。スマホに機種変更後、初めての冬を迎える人が多いという所でしょうか。いつでもどこでも操作可能なスマホの普及が大きな後押しとなり「ネット消費」の市場規模も急拡大の様相を呈し、ライフステージの変化が音楽消費の変化にも如実に表れています。2011年度の「音楽メディアユーザー実態調査」では「スマートフォン」「新規販売ルート」「エルダー層」に焦点を当て、前述の音楽消費変化の要因等、興味深い調査がまとめられています。誌面の都合上ダイジェスト版の掲載となりましたが、当協会HPより詳細版の調査報告書を是非ダウンロードいただければと思います。(個人的には本誌P6「自由に使えるお小遣いの金額」が非常に気になります…) (T)

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。